



竹林の風

進級前に学習状況の確認を！

1年の締めくくりの年度末は、学校行事などが重なり、児童生徒の意識が学習に向かなくなってしまうがちですが、この時期こそ、1年間の学習を振り返りながら、学習への意識を途絶えさせることのないようにしたいものです。

【教育出版 第3学年】		※とちぎ・とちぎっ子学習状況調査問題4年 ※とちぎ・とちぎっ子学習状況調査問題5年 ※活用編・とちぎの子ども基礎・基本問題事例集【活用編】 ※全国B・全国学力・学習状況調査問題【B問題】
単元		活用できる調査問題等
1	かけ算のきまり	H26とちぎ〔17〕、〔19〕(2) H27とちぎ〔17〕 H19全国B〔2〕
2	たし算とひき算	H19全国B〔4〕(2) H21全国B〔3〕(3) H24全国B〔1〕(1)(2)
3	時刻と時間	H26とちぎ〔19〕(1) H27とちぎ〔19〕(1) H21全国B〔3〕(1) H24全国B〔4〕(1) H26全国B〔3〕(1)
4	わり算	H26とちぎ〔8〕(1)(2) H27とちぎ〔8〕(1)(2) H23全国B〔2〕(1)

パワーアップシートと学習単元との関連を一覧にまとめた「関連表」

そこで、年度末に学年のまとめとして学習状況の確認を行い、児童生徒に身に付けなければならない力が確実に身に付いているのかどうかを、教師自身がしっかりと確認するといった取組はいかがでしょうか。そして、その結果を個に応じた指導の充実に生かしていきたいでしょう。

児童生徒の学習状況を確認する際に、「パワーアップシート」

「リディネスシート」の活用をお勧めいたします。単元を意識した見取りを行う場合には、パワーアップシートと学習単元との関連を一覧にまとめた「関連表」を利用すると便利です。

①「パワーアップシート」の活用例

- 授業において、学習状況を把握する評価問題として。
- 家庭学習用プリントとして。
- 朝の学習用プリントとして。

B問題(活用)に加えて、A問題(知識)も掲載いたしました。

この発言から、希望に合う歌を選ぼうと話していることが分かります。

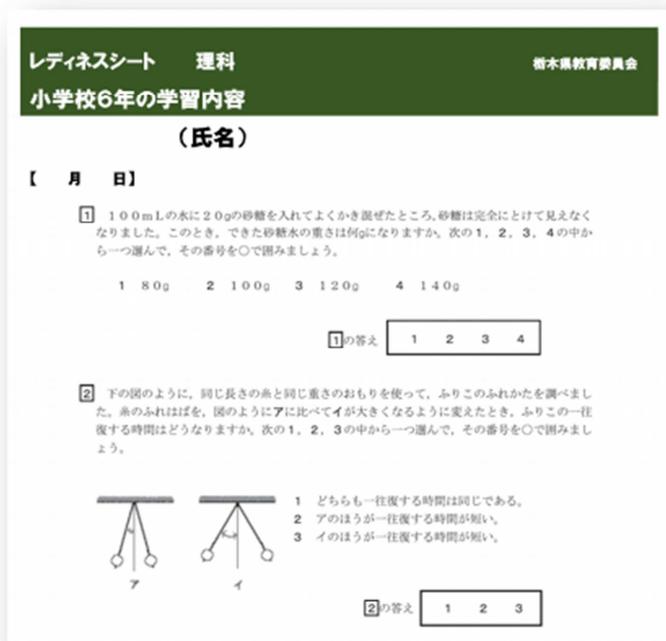
それぞれ発言から、各学年からの希望を関係づけて考えながら話し合っていることが分かります。

ワンポイントアドバイス

※正答例には、「ワンポイントアドバイス」も付け加えております。子供たち自身でも学習できるようになっております。先生方も是非、調査問題をじっくりと見ていただき、今後の授業改善を考える良い機会としてください。

■■■②「レディネスシート」の活用例■■■

- ・授業において、既習内容の定着状況把握のための評価問題として。
- ・年度末や春休みの家庭学習用プリントとして。
- ・朝の学習用プリントとして。



「レディネスシート」

- 小学校1～2年生
国語、算数
- 小学校3～6年生
国語、算数、社会、理科
- 中学校1～2年生
国語、社会、数学、理科、英語

※既習内容の定着状況が確認できます。
→授業で解説を加え、定着を図ります。

進級する際に、学年の学習内容を理解できているかを把握し、切れ目なく、学習支援をすることにつながります。

家庭学習のすすめ

全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査の結果から、家庭学習をしている児童・生徒は学習内容が定着している傾向にあることが分かります。家庭学習を習慣化させることにより、学習内容が定着し、学習意欲が高まっていくというサイクルの構築が望めます。

■■■家庭学習の習慣化のために■■■

- ①家庭学習の意義を子供や保護者に伝えましょう。
 - ・家庭学習の意義について学校全体で話し合い、共通理解する。
 - ・発達の段階に応じて子供に分かりやすい言葉で伝える。
 - ・学校の方針を保護者に説明する機会を持ち、家庭の理解・協力を得る。
- ②宿題を効果的に活用し、意図的に家庭学習の機会をつくりましょう。
 - ・宿題の出し方、分量などについて校内で話し合い、共通理解を図る。
 - ・授業の内容に関連付けた宿題で、学校で学習した内容の理解を深めさせる。
 - ・子供が学ぶ楽しさを実感できるように、発達の段階や実態に応じて内容を工夫する。
- ③主体的に学習に取り組む態度を育てましょう。
 - ・個に応じた学習の手順や調べ方、まとめ方などを指導する。
 - ・家庭学習ノートなどを活用し、努力を認め、学習意欲の喚起を促す。

